



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者の皆様がより良い医療を受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



記事「糖尿病フェア」は3ページに掲載

第49号 目次

特集 -医師が語る疾患-

第8回 大腸癌 外科医師 渡部 顕 1

行事紹介

看護フェスティバル 2

糖尿病フェア 3

連載 職員リレー紹介

第8回 緩和ケア 緩和ケア 内科部長 小川 賢一 . 4

お知らせコーナー 5

防災訓練実施いたしました

看護学生募集 (学校説明会申込)

病診連携施設紹介 6

担当医表 / 編集後記 7



発行 月：平成27年7月
 発行 行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会
 発行責任者：工藤 一大
 住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電 話：045-851-2621
 FAX : 045-851-3902
 URL : http://www.yokohama-mc.jp



●当院携帯サイトはこちらから

特集－医師が語る疾患－

第8回 大腸癌

外科医師 渡部 顕



日本人は一生のうち2人に1人はなんらかの癌にかかることが分かっています。癌は遠いところにある病気ではなく身近にある病気であることが分かります。中でも大腸癌は2013年の死亡数は男性の3位、女性では1位となっています。生活習慣の改善といった1次予防も重要ですが、現実的には検診を受けて、早期発見・早期治療を行うのが重要だと思います。大腸癌の検診である便潜血検査は費用や簡便性から検診として優れていますし、その効果については大腸癌死亡を減少させることが信頼できる研究から分かっています。日本の癌検診の受診率は現在20%程度に留まっています。40歳以上になったら便潜血検査、余裕があれば下部消化管内視鏡検査をお勧めします。

－大腸癌の手術治療－

大腸癌と診断され、肛門からの内視鏡治療が困難であれば手術治療が必要です。遠隔転移がないステージ1から3の大腸癌であればその予後は他の癌に比較しても良好で、完治が期待でき

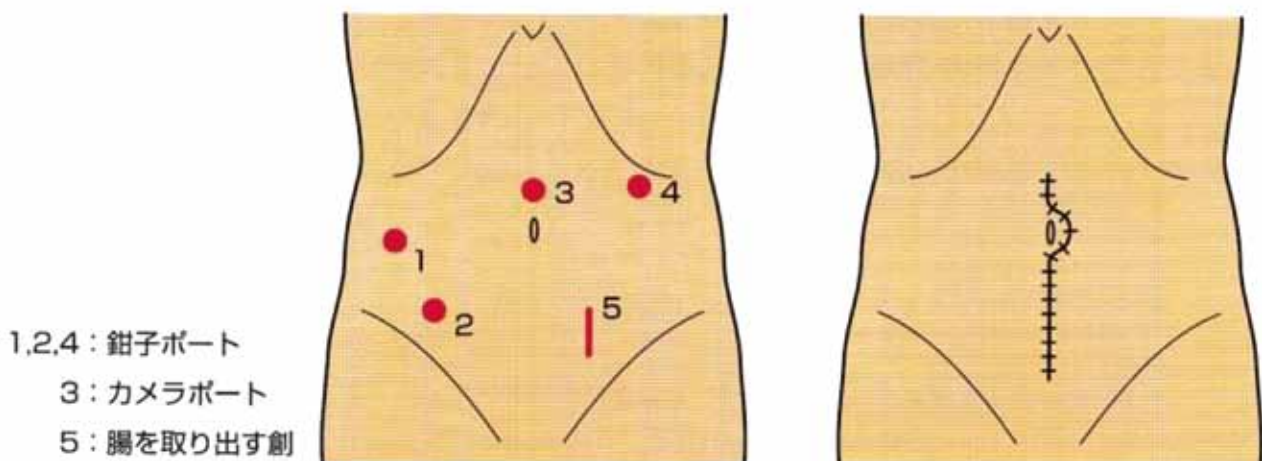
る癌です。

手術方法としては従来の開腹手術に加えて、2002年から腹腔鏡手術が保険収載され、癌の根治性(癌を完治させるレベル)を保ちながら、体に負担の少ない手術が行われています。現在日本の大腸癌手術はその40-50%が腹腔鏡手術で行われています。また昨年、最も信頼性の高い臨床試験から日本の大腸癌に対する腹腔鏡手術の短期成績が開腹手術より優れていることが証明されました。昨今ややイメージの悪い腹腔鏡手術ですが、大腸癌手術の短期成績についてはその有用性と安全性は十分に証明されていると考えています。

当院では大腸癌に対して腹腔鏡手術を積極的に行っており、術後在院日数も9日と良好です。癌の手術治療で最も重要なのは癌の根治性を保つこと、手術から早期に回復することであると考えています。それを達成するために最適な手術方法を選択し、治療成績の向上努めていきたいと考えています。

腹腔鏡下切除術

開腹手術



*施設によりポート(穴)の位置は多少異なります

行事紹介

看護フェスティバル

急性・重症患者看護専門看護師 野村 美紀

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生にちなみ、1990年に旧厚生省より5月12日を「看護の日」と制定されました。当院でも毎年5月に専門・認定看護師が中心となり“看護の日”のイベントを開催しており、今年も5月14日に“看護フェスティバル”を開催しました。

地域の皆様や、通院・入院中の患者とご家族の皆様にも横浜医療センターの看護師について、広く知って頂くことを目的に各分野のエキスパートナースの活動内容や看護外来、各病棟のPRを掲示した展示コーナーを外来の一画に設け、1週間展示し、多くの方が足を止めてくださいました。

また、毎年恒例のハンドケア、手洗い指導、心臓マッサージ、AEDの使い方、嚥下指導、健康相談などのほか、今年は栄養科、薬剤部の協力も得ることができ、昨年度を上回る述べ146名の方々の参加があり、「もっと、こういう機会があればよい」「すぐくためになった」「よい体験ができた」などの感想を頂くことが出来ました。

当院には、各分野のエキスパートナースは現在9分野11名の専門・認定看護師が活躍しております。今後も地域の皆様方に選ばれる病院、そして看護の質でも選ばれる病院となるよう努力していきたいと考えています。

専門・認定看護師 分野	人数
がん専門看護師	1
急性・重症患者看護専門看護師	1
感染管理認定看護師	1
皮膚・排泄ケア認定看護師	3
緩和ケア認定看護師	1
がん化学療法看護認定看護師	1
救急看護認定看護師	1
摂食・嚥下障害認定看護師	1
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	1



行 事 紹 介

第 13 回糖尿病フェア

糖尿病チームケアユニット 西5病棟 貞永 美里

去る2015年6月23日、第13回糖尿病フェアが開催されました。このフェアは、糖尿病への理解や関心を持っていただくために、年1回開催しているイベントです。当院に通院または入院されている患者さんご家族はもとより、ご面会に訪れた方も対象に、老若男女問わず毎年多くの方にご参加いただいております。

糖尿病フェアでは、各種の職員がそれぞれの役割を生かした催しを行い、イベントを盛り上げています。栄養士は栄養相談、薬剤師はお薬相談、検査技師は血糖測定、理学療法士は運動療法、看護師はフットケア・体脂肪測定、医師は血圧測定です。どの催しも、普段は測定できない身体の数値を確認できたり、気になっている健康上の相談ができたり、そしてなんととってもあの宇治原副院長とゆっくりお話ができる！（笑）ということで、ご参加いただいた方からは高評価をいただいております。また、スタンプラリーを実施し、今回全ての職種の催しにご参加された方にはちょっとしたお楽しみも準備しました。



糖尿病フェアの開催は、上記宇治原副院長を筆頭に、各役職の職員で構成された、「糖尿病チームケアユニット」のメンバーが中心となって運営を行っています。「糖尿病チームケアユニット」のメンバーは、普段からチームで糖尿病患者さんご家族の教育支援を行っており、お互いの信頼関係も厚く、とても仲の良い関係です。糖尿病のこと、また糖尿病の教育のことでご心配なことがございましたら、是非当院にご相談ください。

また、この記事をお読みになり興味を持っていただけた方、是非来年の糖尿病フェアにご参加ください。お待ちしております！！



第8回 緩和ケア

緩和ケア 内科部長 小川 賢一

4月から当院に緩和ケア内科が新設され、入院・外来患者さんに対する緩和ケアの診療体制がさらに充実しました。私自身は緩和医療を専門とする医師であり、例えば疼痛治療では数多い鎮痛剤の中から患者さんの症状や病状、全身の状態を踏まえて薬剤の種類や量を調整します。また、場合によって神経ブロック注射という手技を用いる事もあります。

以前は「緩和ケア」というと“がんの治療を終えた人のための医療”と誤解されがちでしたが、現在は主治医と連携しながら治療が順調に進むための支援を行っています。具体的には術後の傷の痛みや化学療法に伴う副作用の症状のコントロールがあります。近年、厚生労働省では、長期に渡り療養生活を送るがん患者さんの生活の質を上げるために “がんと診断されたら緩和ケアを受けましょう”と推奨をしています。また、海外の研究結果では、早くから緩和ケアを受けることによって“生活の質が高まった” “寿命が延びた” という事が報告されています。当院では、医師や看護師、薬剤師、ケースワーカー、心理士など色々な職種がチームを組みがんの治療や病状に伴う辛さが軽減し、生活しやすいように支援しています。以下に当院の体制をご紹介します。

<緩和ケア外来>

診療日は月・火・木・金の週4日(午前中)。医師の診察の前に専任の看護師が問診し、“辛い症状”や“生活上困っていること”が解決するよう支援しています。

<入院緩和ケア>

入院中は継続して緩和ケア医師の診察や多職種で構成されるチームの回診を受けることができます。外来と同様、可能な限り辛さが取れて生活しやすい状態を目指します。また、退院後も安心して生活できるよう地域医療連携室と協力してご本人のみではなくご家族も支援します。



「がんに対する治療」と「辛さを取り除く治療（緩和ケア）」の両輪があってこそ“質の高いがん医療”を目指せると言えます。“緩和ケア”を希望する方は、お近くの医師、看護師に気軽に声をお掛けください。

お知らせコーナー

防災訓練実施いたしました

教員 奥田 映里子

小雨が振る6月3日、横浜看護学校で学生、職員全員が参加し、防災訓練を行いました。横浜市消防局戸塚消防署大正出張所の方のご指導の下、避難訓練や初期消火訓練、煙ハウスを体験しました。起震車で地震体験もする予定でしたが、雨のために体験することができず残念でした。



避難後は、戸塚消防署大正消防出張所の所長より災害時の行動や、今できる災害への備えについてお話しいただきました。DMATやYMATの活躍のお話もあり、学生たちも大変興味を持ったようで、真剣に聞いていました。



防災訓練後は、各学年で訓練の振り返りをしました。

1年生は初期消火や煙ハウスの体験から、実際の火災の場面を想定し行動することの難しさを実感していました。2年生や3年生は自分自身が避難すると共に、患者さんの避難方法についても考えることができていました。

今後も防災への意識を低下させないように、日常生活の中から災害対策に取り組んでいきたいと思っております。

独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター附属横浜看護学校 ～学校説明会 お申し込み受付中!!～

- 受付：9時～9時30分
- 説明会：9時30分～12時30分



★お電話、Mailで、
事前にお申し込み下さい

第1回	終了	6月 6日(土)	【公開講座】
第2回	終了	6月27日(土)	
第3回	終了	7月 4日(土)	【公開講座】
第4回		7月18日(土)	
第5回		8月24日(月)	【公開講座】
第6回		9月19日(土)	【公開講座】
第7回		10月31日(土)	【楓葉祭】
第8回		平成27年3月5日(土)	【公開講座】

【住所】〒245-0063 横浜市戸塚区原宿3-60-2

【問合せ】TEL：045 (853) 8322

【HP】<http://www.yokohama-ns.com/>



病診連携施設紹介

横浜痛みのクリニック

診療科目：ペインクリニック科
頭痛外来

横浜痛みのクリニックは名前に示す通り痛みの専門医院(ペインクリニック)です。本年3月戸塚駅東口に開院致しました。元は港南区上大岡駅前が開業しています緩和会 横浜クリニック(ペインクリニック)を改善発展させた医院ですので、

随所に工夫を凝らしています。痛みの治療は患者さんの問診に時間がかかりますので、戸塚では再来患者さんを待たせず、治療後も数分以内に会計事務を終了し帰宅できるように心がけています。そのために治療室を半個室化し、そこでも診察ができるようにしました。

ペインクリニックで担当している診療は主に整形外科疾患で、投薬やりハビリでは十分に痛みが取れ無い患者さんで、かつ手術適応にはまだならない、もしくは慢性疾患や高齢のために手術は施行できない方が主な患者さんです。また帯状疱疹痛、色々な慢性痛、頭痛等の患者さんも来院されています。初診患者さんの半分は近隣医療機関からの紹介患者さんですので戸塚においてもご紹介頂いた患者さんを痛みと言う観点から診察し、神経ブロックを主に有効な治療を探し出して、痛みが緩和するように努力しております。

痛みの治療に来られる患者さんの第1番目の質問は「この痛み治りますか?」第2番目の質問は「直ぐ治りますか?」です。この質問に対する私の答えは、患者さんの期待を最初にくじいてしまいます。来院される患者さんの多くはこの痛みのためにいくつかの医療機関を巡ってから当院に来られますので、痛みが続いた期間は長いし、すでに色々な治療を受けています。私の答えは「治るとはいえないが、緩和することは可能ですよ」「痛みの治療は先手必勝ですが、遅れると時間がかかります。焦りは禁物です。」この答えで多くの患者さんががっかりします。しかし治療を受けながら少しずつ痛みが緩和し、日常生活が改善してくると、痛みと付き合う事を理解されていきます。そしてしばらくして、痛みが多少有っても生活的には困らなくなれば、当院での治療は終了です。患者「人生って多少の痛みを背負うものですよ」私「それが言えれば治ったも同然ですよ。もう少し人生を楽しみましょう。」



前列中央 立山院長



横浜痛みのクリニック

〒 244-0816 横浜市戸塚区上倉田町498-11 第5吉本ビル2F

TEL : 045-443-8013 FAX : 045-443-8014

ホームページ : <http://www.pain.jp>

診療時間 月～金：午前9時～午後12時30分/午後2時30分～午後5時

休診日 土・日・祝祭日

担当医師のスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
午前	立山 丸田	新堀 齋藤	立山 打越	新堀 打越	丸田 齋藤	/	/
午後	立山	新堀 齋藤	立山	新堀	丸田 齋藤	/	/

※担当医師は、学会・研究会等のため変更になることがあります。

	診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考
外来受付 A	小児科	鎌木 陽一 伊藤 育登 大嶋 明	福山 綾子 石津 博子 西山 邦幸	小林 慈典 大杉 康司 喜多 佳世	鎌木 陽一 矢竹 曜子 今野 裕章	塩谷 裕美 伊藤 育登 宮沢 啓貴	
	心臓血管外科 形成外科	益子原 幸宏	休診日(手術日) 村下 一晃	休診日(手術日) 東館 雅文	休診日(手術日) 村下 一晃	休診日(手術日) 村下 一晃	
	整形外科	瀧上 秀威 小林 明裕 仲 拓磨	日塔 寛昇 伊藤 りえ 日野 勝利	瀧上 秀威 伊藤 りえ 仲 拓磨	日塔 寛昇 上條 晃 藤田 真太郎	上條 晃 小林 明裕 藤田 真太郎 ★日塔 寛昇	★:予約患者のみ
		交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師
外来受付 B	総合内科外来	重松 絵理奈 小松 裕美子	重松 絵理奈	宇治原 誠 藤井 梨絵	宇治原 誠	小松 裕美子	■:午後の予約のみ
	糖尿病内分泌内科	滝野 徹也	小林 絵礼奈 園田 美紗子	上木 英人	遠藤 雅直 園田 美紗子	高橋 竜哉	初診には紹介状が必要
	神経内科	松下 啓	中野 雅友樹	小宮 麻里子 園田 憲悟	園田 憲悟 松下 啓		
	腎臓内科	後藤 秀人 園後藤 基史	休診日(検査日) 園後藤 秀人	小嶋 亮太 田中 恭子 園成田 篤哉	休診日(検査日) 園後藤 秀人	橋原 基史 小嶋 亮太	
	呼吸器内科	久礼 星江(初診) 交代医師	日向 有紀子(初診) 鈴木 大輔	小松 達司(初診) 松島 昭三	松島 昭三(初診) 野暮 はるか	交代医師(初診) 小松 達司	
	消化器内科	森 文章 園代 洋一	岩出 和徳 園代 洋一(午前) 園齋藤 貴士	森 文章 清瀬 景子	森 文章 園代 洋一	初診:森 文章 出口 治子 園松島 昭三	※火曜日は予約患者のみ(新患受付無し)
	循環器内科	初診:岩出 和徳	初診:森 文章	初診:岩出 和徳	初診:岩出 和徳	初診:森 文章	
	リウマチ科	出口 治子	※小林 幸司 園出口 治子	休診日 (検査日)	小林 幸司 園出口 治子	出口 治子 園小林 幸司	
	外科・消化器外科	清水 哲也 渡部 顯 朴 俊	関戸 仁 松田 悟郎 山本 悠史 ※太田 郁子	松田 悟郎 松田 悟郎 山本 悠史	関戸 仁 松田 悟郎 坂本 星紗 清水 哲也 中嶋 佑介	休診日 (手術日)	※乳腺外科の初診には紹介状が必要 地域連携室を通して完全予約制
	呼吸器外科		五来 厚生 高橋 航		五来 厚生		新患の受付は火曜日午前、木曜日午前に願わせて頂きます。
脳神経外科	休診日 (手術日)	交代医師① 手術日	交代医師② ◇脳ドック	休診日 (手術日)	藤津 和彦 市川 輝夫	①:第1・3・5週 岡田 富、第2・4週 宮原 宏輔 ②:第1・3・5週 瓜生 康浩、第2・4週 谷野 慎 ◇:脳ドックの詳細はPM2:00～5:00の間に「医事 脳ドック受付」までお問い合わせください。	
緩和ケア内科(ペイン・緩和)	小川 賢一	小川 賢一		小川 賢一	小川 賢一	初診には紹介状が必要	
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	○佐々木 祐幸 手術日	○:予約外の診察には紹介状が必要
	眼科	木村 正彦 内匠 秀尚	木村 正彦 内匠 秀尚	木村 正彦 木村 正彦	木村 正彦 木村 正彦	休診日 (手術日)	初診には紹介状が必要 火曜日は新患のみ診察
	泌尿器科	奥野 紀彦 若田部 陽司	奥野 紀彦 若田部 陽司	休診日 (手術日)	奥野 紀彦 若田部 陽司	高田 治子 大山 哲平	
	皮膚科	白井 京美 上田 喬士	白井 京美 上田 喬士	白井 京美 上田 喬士	白井 京美 上田 喬士	白井 京美 上田 喬士	水曜日は新患(要紹介状)のみとなります。 水曜日午後は手術の為、入院患者の依頼はお断りしています。
外来受付 D	心療内科	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	
	精神科	杉山 鮎子	大橋 茉莉子 野口 功一	古野 拓	木谷 卓矢	土屋 美江 宮崎 秀仁	※月～金:初診の方は9時30分までに受付を済ませてください。(要紹介状、1日1名の予約制) 初診は上記の専任医師以外の医師が診察します。詳細は精神科外来にお尋ねください。
	婦人科	若林 玲南	奥田 美加	窪田 興志	高山 智子 (奥杉 輝彦)	鈴木 理絵	初診には紹介状が必要
	産科	妊婦健診 (交代医師)	妊婦健診 (交代医師)	妊婦健診 (交代医師)	妊婦健診 (交代医師)	妊婦健診 (交代医師)	地域連携室を通して完全予約制
歯科口腔外科	根岸 明秀 柴崎 麻衣子 (再診のみ)	根岸 明秀 柴崎 麻衣子 (午前初診・午後再診)	入院手術日 (再診) ※急患はご連絡 ください。	根岸 明秀 柴崎 麻衣子 (午前初診・午後再診)	根岸 明秀 柴崎 麻衣子 (再診のみ)	初診:火・木曜日 8:30～11:00、要紹介状/診療情報提供書 初診急患:紹介状からの連絡の上、随時受付。要紹介状/診療情報提供書 再診:完全予約制。 再診急患:あらかじめ電話連絡して下さい。	
専門外来 (予約制)	小児科	アレルギー検査(③) シナシス(8～4月) (矢竹 曜子)	アレルギー検査(④) フォローアップ外来 (矢竹 曜子)	アレルギー検査(⑤) アレルギー(鎌木 陽一) アレルギー(石津 博子)	アレルギー検査(⑥) アレルギー検査(交代制) 13:30～14:30 アレルギー検査(鎌木 陽一)(月1回)	アレルギー検査(⑦) アレルギー検査(交代制) 1カ月健診 (交代医師)	③第2・3・4週 ④:第1・3週(火)長濱 晶子 ⑤:第2・4週(火)渡辺 好宏 ⑥:第2・4週(月)内分泌 大杉 康司 ⑦第2週のみ
	整形外科		骨髄外来(⑧) スポーツ整形外科(⑨)	手外科(⑩)	骨髄外来(⑪) スポーツ整形外科(⑫)		⑧毎週14:00～15:00(地域連携室を通しての完全予約制) ⑨毎週15:00～16:00、⑩毎週14:30～15:30
	神経内科		◎頭痛外来 摂食・嚥下外来 物忘れ外来				地域連携室を通して完全予約制 ◎第2・4週(頭痛外来)、第1・3・5週(摂食・嚥下外来)
	糖尿病内分泌内科	糖尿病連携バス外来		腹膜透析外来	腹膜透析外来		
	腎臓内科	腹膜透析外来		腹膜透析外来	腹膜透析外来		
	感染症内科			感染症外来	感染症外来		
	看護部			糖尿病看護ケア外来 糖尿病フットケア外来	糖尿病看護ケア外来 糖尿病フットケア外来		
	外科		スキケンケア外来 ※乳がん検診	スキケンケア外来			※乳がん検診、乳腺外科は完全予約制
	心臓血管外科	血管外来				大動脈瘤・ステント グラフト外来	
	耳鼻咽喉科				補聴器外来(午後)		
	循環器科			パースメーカー外来	睡眠時無呼吸 症候群外来		
	精神科	物忘れ外来 助産師外来	助産師外来	助産師外来	助産師外来	物忘れ外来 助産師外来	初診には紹介状が必要。地域連携室を通して完全予約制
	産婦人科	母乳外来(午後) ▽母親教室	母乳外来(午後)	▽母親教室	母乳外来(午後)	母乳外来(午後)	▽:午後のみ。夫立金教室は第2、4週土曜日、第3週日曜日。
	呼吸器内科					アスベスト外来 (橋原 基史)	地域連携室を通して完全予約制(第1金曜日のみ)
	放射線科	杉山 正人	杉山 正人	杉山 正人	杉山 正人 幡多 政治	杉山 正人	9:00～11:00 地域連携室を通して完全予約制
病理診断科	※	※	※	※	※	※担当医:新野 史 完全予約制(1～2名)、診療日は流動的	

初診 受付: 平日 8:30～10:00
再診 (予約外) 受付: 平日 8:30～10:00
休診 日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。

◆編集後記◆

当院では、専門的な知識や技術を活かして、毎年5月に看護フェスティバル、6月に糖尿病フェアを開催しています。このような活動も含めて地域の皆さまに選ばれる病院となるよう努力していきたくと思います。

これから日差しの強い夏へ環境が変わる季節です。屋内外で温度差が生じて 体調を崩しやすい時期ですので、気をつけて日々をお過ごしください。(S. H)